

第13章

大 学

新型コロナウイルスの感染拡大は、大学に通う学生の学生生活にも大きな影響を及ぼし、国や市、各大学においては、学生が修学を諦めることがないよう、様々な対策を講じてきた。

国では、アルバイト収入等の減少により、経済的に困窮する学生を対象に、二度にわたり、給付金（学生支援緊急給付金）を支給した。本市においても、この国の支援に加え、独自に生活が困窮する学生を対象に給付金を支給し、学生の学びの継続を確保することに努めてきた。各大学では、独自の授業料減免や奨学金制度等による支援のほか、遠隔授業に対応するための環境整備支援等が行われた。

また、大学内での感染拡大を防止するため、市内の大学に対し、新型コロナウイルスに関する注意喚起や情報提供を行ってきた。さらに、必要な情報を大学間で共有できるように、大学運営等に関する意見交換の場を設けたり、電話等による各大学の状況把握に努めてきた。

新型コロナウイルスの影響が長引くことで、サークル活動の自粛やオンライン授業等により、精神的な不安を抱える学生が生じ、各大学においては、学生のメンタルヘルスを維持するため相談体制の整備等を行った。本市としても、大学での相談につなげるため、学生を対象とした調査の実施や、各大学のメンタルヘルスの充実を図るための補助金を支給した。

1 大学への支援

(1) 大学における感染対策

- 学生の感染防止対策のため、市の新型コロナウイルスに関する注意喚起等の情報について、迅速に市内大学へ周知し、学内の感染防止対策に寄与できるよう取り組んだ。
- 必要な情報は、大学間で共有できるようにし、「市内大学関係者勉強会」を実施するなど、コロナ禍における大学運営等に関する意見交換の場を設けた。
- 本市が設立団体である北九州市立大学については、感染防止対策への必要な財政的支援を行った。

【北九州市立大学への支援】

予算措置	主な支援内容
令和2年9月補正予算	<ul style="list-style-type: none"> ・国の「学生支援緊急給付金」において、学生支援機構に推薦した学生に対する授業料減免 ・遠隔授業配信環境整備、学生用パソコン等貸出支援
令和3年2月補正予算	<ul style="list-style-type: none"> ・分散した教室で同時に授業を受けるためのビデオ会議システムや学内サーバの増設 ・新型コロナウイルス感染拡大防止に係る特別清掃費用 ・遠隔授業下での語学学習を行うためのeラーニング導入費用
令和3年度当初予算	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンパスネットワークの整備 ・清掃費用の補助



ビデオ会議システムの導入



遠隔授業配信の環境整備

(対応を振り返って)

新型コロナウイルスの感染防止対策のため、福岡県等と連携しながら、市内10大学への注意喚起や情報提供を行うとともに、各大学の取組状況等の把握に努めた。

(2) 学生への経済支援

- 新型コロナウイルスの感染拡大による影響で、学生生活にも経済的な影響が及ぶ中、世帯収入やアルバイト収入等の減少によって、経済的に困窮する学生等を対象に、国や各大学の支援に加え、本市においても、必要な支援を講じた。

ア 国の支援「学生支援緊急給付金」

概要

新型コロナウイルスの感染拡大による影響で、世帯収入・アルバイト収入の大幅な減少により大学等での修学の継続が困難となっている学生等が修学をあきらめることがないよう、給付金を支給した。

募集期間

- ・ 第一期：令和2年5月～（申請締切日は、各大学の取扱に拠る）
- ・ 第二期：令和3年12月～（申請締切日は、各大学の取扱に拠る）

対象者

国公立大学（大学院含む）、短期大学、高等専門学校、専門学校、日本語教育機関の学生

支援内容

給付額：10万円（住民税非課税世帯の学生等は20万円）

イ 北九州市「学生応援給付金」

概要

新型コロナウイルスの影響を受け、アルバイト収入が大幅に減少する等の経済的に困窮する学生を対象に、本市独自の給付金を支給した。

募集期間

- ・ 第一期：令和3年3月1日～3月19日
- ・ 第二期：令和3年4月19日～5月7日

対象者

- ・ 第一期：北九州市内に所在する大学等に在籍する困窮学生
- ・ 第二期：北九州市に住民登録があり市外に所在する大学等に在籍する困窮学生

支援内容

給付額：5万円

支給状況

区分	申請件数	支給件数 (支給割合)	不支給件数 (不支給割合)
第一期	4,613件	3,654件 (79.2%)	959件 (20.8%)
第二期	627件	483件 (77.0%)	144件 (23.0%)
合計	5,240件	4,137件 (79.0%)	1,103件 (21.0%)

ウ 各大学独自の取組・支援

各大学においては、独自の授業料減免制度や奨学金制度等により、経済的に困窮する学生を支援し、遠隔授業に対応するための給付金を支給する大学もあった。

(対応を振り返って)

- 学生の学びの継続を支援するため、各大学との連携を図りながら、必要な時に必要な支援を行ってきた。
- 本市の「学生応援給付金」は、住民税が非課税であるかどうかに関わらず、幅広い対象とし、他の政令市にはない手厚い支援とした。

(3) メンタルヘルス (大学支援)

- オンライン授業やサークル活動の自粛等により、精神的な不安を抱える学生が生じたことから、各大学では、カウンセリングを行う等、学生のメンタルヘルスを維持するために必要な措置を講じてきた。

【主な取組】

ア メンタルヘルス調査

概要

市内大学に通う学部生等に調査を行い、新型コロナウイルスの影響で心身の状態等に悩みを抱えている学生を把握し、大学での相談等につなげるもの。

調査期間

令和3年5月17日～6月30日

調査対象

対象は市内大学のうち、調査に協力した大学9校及び短期大学4校に所属する学生（大学1～6年生、短期大学1・2年生及び専攻1・2年生等）21,002人

回答率

25.5% (回答数5,346件)

調査結果

「抑うつ傾向」、「対人不安」、「身体的訴え」等、さまざまなストレスを感じている学生がおり、回答者全体の6.2%がケアの必要な学生と考えられた。

イ 補助金の支給

メンタルヘルスの調査結果を各大学に還元後、各大学においては、調査結果を踏まえたメンタルヘルスの充実に寄与する事業を実施した。市はこれらの事業に対し、補助金を支給して支援を行った。

補助金の支給内容 (決算額)

(単位:円)

	大学名	内容	金額
1	九州工業大学	関連ホームページの拡充、留学生向ガイドブック購入等	1,000,000
2	九州歯科大学	学生への広報ツールの作成等	888,800
3	北九州市立大学	臨床心理士等の新規雇用等	780,580
4	九州栄養福祉大学 東筑紫短期大学	カウンセリング室の備品の購入等	700,830
5	産業医科大学	相談室の備品等の購入	124,080
6	西南女学院大学 西南女学院大学 短期大学部	フリースペース設置等	1,000,000
合計			4,494,290

(対応を振り返って)

各大学では、支援が必要と思われる学生に対しては、学生の心身の状況に応じて面接を行う等の対応を行った。